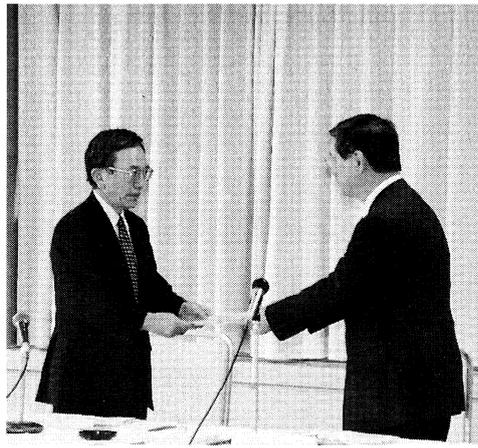


科学技術・学術審議会に三つの諮問



阿部会長へ諮問文を手渡す町村前文部科学大臣

四月十三日、科学技術・学術審議会（会長・阿部博之・東北大学学長）第二回総会が開催され、町村信孝前文部科学大臣から三つの事項について諮問が行われた。今後、関係する分科会・部会において審議を進めることとしている。

四月十三日、科学技術・学術審議会（会長・阿部博之・東北大学学長）第二回総会が開催され、町村信孝前文部科学大臣から三つの事項について諮問が行われた。概要は次のとおり。

一 長期的展望に立つ海洋開発の基本的構想及び推進方策について

政府では、海洋開発審議会第三号答申「長期的展望に立つ海洋開発の基本的構想及び推進方策」を推進してきた。第三号答申の後十一年が経過して、「海洋を利用する」ことに加えて、「海洋を知る」「海洋を守る」ことも考慮した海洋開発の推進が求められるなど、内外の情勢を考慮した長期的展望に立つ海洋開発の基本的構想を明確にし、その推進方策を確立するため検討を行う。海洋開発分科会において審議を行い、一年半程度を目途に結論を得る。

二 技術士試験における技術部門の見直しについて

技術士試験の技術部門について、社会的な需要や科学技術の進展状況を踏まえるとともに、技術士制度の活用観点も加え、見直しについて検討を行う。技術士分科会において審議を行う。一年半程度を目途に結論を得る。

三 知的基盤整備計画について

先端的、独創的な基礎研究等の研究開発を推進するには、実験、計測、分析、評価等の研究開発の基本となる活動を安定的かつ効果的に支える知的基盤の体系的な整備が大きな課題である。第二期科学技術基本計画（平成十二年三月三十日閣議決定）においては知的基盤について「二〇一〇年を目途に世界最高水準を目指すべく、早急に整備を促進することとされた」とある。これを受け、我が国の二〇一〇年までの知的基盤整備のための具体的な方策を明らかにする知的基盤整備計画について検討を行う。技術・研究基盤部会において審議を行い、本年夏までに一応の結論を得る。



とびのき日記

町村前文部科学大臣

盛大な拍手につつまれて退庁

町村前文部科学大臣は4月27日、遠山新文部科学大臣との事務引継を終えた後、省内職員に退任の挨拶を行い、文部科学行政の一層の推進を期待しながら職員を激励した。

このあと、町村前文部科学大臣は、省内の中庭で職員から花束を贈られ、「蛍の光」が流れる中、職員の盛大な見送りにこたえ、文部科学省を退庁した。



大野前副大臣 力強い言葉を残し退庁

大野前副大臣は五月七日、青山・岸田両新副大臣への事務引継を終えた後、省内職員に退任の挨拶を行った。

大野前副大臣は「これからも文部科学行政が日本のリーダー役であるというつもりで活躍下さい。」と力強い言葉を残し、文部科学省を退庁した。



河村前副大臣 職員の見送りを受けて退庁

河村前副大臣は五月七日、青山・岸田両新副大臣への事務引継を終えた後、省内職員に退任の挨拶を行った。

このあと、中庭で職員から花束を贈られ、「アニー・ロリー」が流れる中、職員の大な拍手に送られて文部科学省を退庁した。

文部科学省

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL.03-3581-4211 (代表)

大臣官房	生涯学習政策局	初等中等教育局
高等教育局	スポーツ・青少年局	文化庁

〒100-8966 東京都千代田区霞が関2-2-1 TEL.03-3581-5271

科学技術・学術政策局	研究振興局	研究開発局
------------	-------	-------

http://www.mext.go.jp/

南極地域観測越冬隊長ら 小野事務次官に帰国報告



小野事務次官

南極観測船「しらせ」が四月十三日、東京港晴海埠頭に帰港した。

十八日、渡邊第四十一次越冬隊長、加藤第四十二次越冬隊長、石角「しらせ」艦長が文部科学省を訪れ、小野文部科学事務次官らに帰国の挨拶を行った。

小野事務次官は、南極限石の採取をはじめとする観測隊の成果報告を受け、その労をねぎらった。